

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを積極的に話し合ひましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう・あなたの美を見つけて・この教科書で学ぶみなさんへ <p>○つくって使って味わう工芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルクスクリーン <p>○ルネサンスが目指したもの（鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レオナルド・ダ・ヴィンチ 	<p>2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>材料の特性や機能性を生かしてつくることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などの工夫や良さについて考える。 ・材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出す。 ・主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。 <p>ルネサンスの表現の特徴や美しさ、時代背景などに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。</p>
2 学 期	<p>○手から手へ受け継ぐ（鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け継ぐ伝統と文化 <p>○季節を楽しむ心（工芸・デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の美意識 <p>・色紙</p>	<p>工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。</p> <p>四季折々の美しさを暮らしに取り入れて楽しむという日本の文化に関心を持ち、自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさを捉え、構成や表現方法を工夫してデザインする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などをもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練る。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。 <p>年配の方を敬い、大切にすることを育むとともに、相手の喜びを自分の喜びとしてとらえ、贈る相手の気持ちを考え、伝えたい内容や伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題に応じて画材などの表現方法を工夫し、表す。
3 学 期	<p>○ひと目で伝えるための工夫（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の特徴を深く知る 	<p>デザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるサインやマーク等を調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ・校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出す。 ・主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。

<p>○水と筆を操る（絵画）</p> <ul style="list-style-type: none">・水墨画の表現	<p>墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。</p> <ul style="list-style-type: none">・墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。・主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。
--	--